

□□■-----
□■-----

広島校だより(2015年6月号)

-----Vol. 105/2015. 6. 4----- ■□
----- ■□□

中小企業大学校広島校メルマガ担当の仁藤(にとう)です。
広島校だより6月号をお送りさせていただきます。どうぞご覧ください。

中小企業大学校広島校ホームページ
<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/>

■-----■
目次 - INDEX -
■-----■

- ◆1 - NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~
- ◆2 - 研修のご案内(2015年7月開催)
- ◆3 - その他のご案内
- ◆4 - コラム

=====

■ 1. NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~

★
| ■新価値創造展 2015(第11回 中小企業総合展 東京) 出展者募集中!

新価値創造展 2015(第11回 中小企業総合展 東京)
会期: 2015年11月18日(水)~20日(金)
会場: 東京ビッグサイト 西3・4ホール

◆どんな展示会?

-----◆
新しいアイデアや技術を求める大企業・中堅企業等の研究開発、事業企画、マーケティング部門をはじめ、新製品やサービスの取り扱いを目指す企業等との連携構築、共創を目指す展示会です。

◆開催テーマは?

- ◆
- ・健康長寿社会で生きる新ビジネスを
(医療機器、介護、福祉、予防・診断など)
 - ・地域コミュニティの再生・発展で新ビジネスを
(環境、エネルギー、住宅、建材、防災など)
 - ・ひとの感性を生かしたものづくり・技能ネットワークで新ビジネスを
(部品、加工、機械、ロボット、宇宙・航空など)

◆新価値創造展の魅力は?

-----◆
○来場者数 50,000人! (予定)

○大企業・中堅企業の研究開発、事業企画・マーケティング部門等の来場者数 20,000 人！（予定）

○提携先・取引先となりうる来場者と出会えた出展者 84.7%！（昨年度）

◆ビジネスマッチングを促進する取り組みは？

○大企業等との個別商談会を実施します！

○ジェグテックを活用し、大企業からの技術提案型のビジネスマッチングを実施します！

○出展者間の個別商談会を設定し、事業パートナーとの連携を強力にサポートします！

○中小機構の専門家がマッチングをコーディネートします！

■出展者募集中！（締切：6月30日（火））

<http://shinkachi.smrj.go.jp/tokyo/>

<お問い合わせ先>

新価値創造展 2015 事務局

TEL：03-6441-4901 E-mail：st2015@wm.smrj.go.jp

独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部 担当：打田、大竹、小村
TEL：03-5470-1525

=====
■ 2. 研修のご案内（2015年7月開催）
=====

★

7月8日（水）～10日（金）<3日間>

[15-12] 改善指導者のための原価管理とコストダウン

～原価管理によるコストマネジメント～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090397.html>

【研修のポイント】原価管理の知識・手法を理解し、自社のコスト改善計画作成演習により現場でのコストマネジメント力を養成します。

★

7月14日（火）～16日（木）<3日間>

NEW！[15-13] 成果を上げる営業交渉術

～“できる営業員”の行動と育成方法～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090398.html>

【研修のポイント】“できる営業員”の行動を理解し、顧客との対話方法や成果の上がる営業員の育成方法を、演習を交えて習得します。

★

7月15日（水）～17日（金）<3日間>

[15-14] 経営戦略・経営計画の作り方
～“成長する会社”になるための経営戦略と実践のあり方～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090399.html>

【研修のポイント】経営環境の分析、経営資源の把握、経営戦略と経営計画の策定手法や実行体制づくりについて、演習を交えて効果的に学びます。

★

7月27日（月）～29日（水）＜3日間＞

[15-16] 成果を上げる業務改善の取り組み方
～生き残りをかける業務改善～

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/details2015/090433.html>

＜受講生の声＞三角・四角を用いて図解化して考えるという点がすごく参考になった。先生の話が分かりやすく、おもしろかった。

★

●その他の広島校研修情報はこちらをご覧ください。

<http://www.smrj.go.jp/inst/hiroshima/list/index.html>

●「研修ガイド2015」（中小企業者向け研修パンフレット）の送付をご希望の方はこちらからお申し込みください。お申し込みの際に【研修ガイド2015希望】と【郵送先住所】の記載をお願いいたします。
<http://www.smrj.go.jp/enq/inst/hiroshima/007731.html>

=====
■ 3. 其他のご案内
=====

★

■ 中小機構中国本部からのお知らせ

【海外ビジネス定期相談会】

海外ビジネスの悩みについて相談できる相談会を開催します。

◆広島会場：6月5日（金）、11日（木）、19日（金）、25日（木）、26日（金）

◆岡山会場：6月18日（木）

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/034215.html>

【事業承継に関する相談窓口】

事業承継にお悩みの中小企業の皆様のための相談窓口を開設します。

◆6月9日（火）、10日（水）、15日（月）、16日（火）、17日（水）、18日（木）、23日（火）

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/059988.html>

【技術・ものづくりに関する相談窓口】

産業技術総合研究所中国センターと連携して、中小企業の皆様の研究開発・ものづくりにアドバイスを行う相談窓口を開設します。

◆お申込みの都度、相談日を調整します

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/059988.html>

【金融に関する相談窓口】

日本政策金融公庫広島支店国民生活事業と連携して融資に関する相談窓口を開設します。

◆お申込みの都度、相談日を調整します

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/060006.html>

【エンジェル税制に関する相談窓口】

エンジェル税制による資金調達を検討中のベンチャー企業の皆様への支援として、中国本部登録の税理士、公認会計士がキャッシュフロー計算書作成のアドバイスを行う相談窓口を開設します。

◆6月9日(火)、15日(月)、16日(火)、18日(木)

<http://www.smrj.go.jp/chugoku/manage/window/exceptional/035583.html>

★

■広島市産業振興センターからのお知らせ
「小売店の販売促進デザイン作成のコツ」受講者募集

販売促進物はお客様の購買意欲をかきたて、集客・購入を促す目的で作成されるものですが、お客様に見ていただかないと何の効果もありません。当セミナーでは、販売促進物について、商品の魅力を最大限に活かすデザイナーの視点から学びます。

- ◆対象者：中小企業の経営者、売場管理者など
- ◆開催日：平成27年7月7日(火) 13:30~16:30
- ◆会場：広島市まちづくり市民交流プラザ
北棟6階 マルチメディアスタジオ(広島市中区袋町6番36号)
- ◆講師：納島 正弘氏(株式会社地域デザイン研究所 代表取締役)
- ◆定員：30名(先着順)
- ◆受講料：1,000円

申込・詳細ページ

<http://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/seminar/post-16.html>

<お問い合わせ先>

公益財団法人広島市産業振興センター（中小企業支援センター）
TEL：082-278-8032 FAX：082-278-8570
E-mail：assist@ipc.city.hiroshima.jp

=====
■ 4. コラム
=====

「マンホールとコイン」

「マンホールの蓋は何故円いのだろうか?」、「コインは何故円いのだろうか?」。この二つの問いは、ある考え方を理解する上で大変面白い題材です。頂いた回答を例示してみましょう。

マンホールに関する回答では、「蓋が穴に落ちないように」、「面積が小さくなるように」、「重量に耐えられるように」、「製造コストが安い」、「転がして運びやすい」、などがあげられます。どれもそれらしい。

コインに関する回答では、「持ちやすい」、「自動販売機で転がるように」、「欠けにくい」、「大量生産しやすい」、「財布が破れにくい」、「指で示せる」、「大隈重信が指示したから」、「銭形平次のように」、などですが、大隈重信や、銭形平次の例のように、ユニークな回答も見受けられます。

マンホールの例では、「蓋が穴に落ちないように」が圧倒的に多く、皆さんもこれに納得されるかもしれません。蓋が三角形、四角形の場合には、穴に落ちることに言及しながら、「蓋が落ちると穴の中にいる人にとって危険」とか、「穴に落ちてしまった蓋を上まで戻すのが面倒」などの理由を補足的に答えた人もいます。

コインの例では、これだという回答例が、なかなか見あたらないのが正直なところでしょうか。

ところで、逆問題という一つの学問分野があります。「複雑な現象の中から、ある種の規則性を発見・モデル化する機構」とも言えるのですが、逆問題がある以上、反対の順問題も当然ある訳です。順問題は「原因から結果を導きなさい」、逆問題は「結果から原因を推定しなさい」という問題で、逆の意味は、現象を時系列的に逆にさかのぼることからきています。

例えば、ある種の病気になったとき、どんな症状があらわれるか考えるのが順問題、症状から病名を診断するのが逆問題です。もう一例、某国の核爆発実験時の衝撃を地震計で調べるのが順問題、地震計で計測して震源地とその規模を推測するのが逆問題ということになります。

その他にも、「隠し味は白ワイン?」、「犯人は誰?」、「日本の紙幣で地球儀が描かれているのは何円札?」など、我々は日常的に無意識に逆問題の答えを求める生活をしていることに気がきます。

順問題は、その現象を時系列的に捉えるので物理的に自然ですが、逆問題では答えが見つからなかったり、それらしき答えが何通りもあつたりすることが多いので悩ましい。

「蓋が円いと穴に落ちない」は順問題の答えです。ほとんどの人は、ここまでで満足してしまいます。ここで、逆問題を思い出すと、「穴に落ちないのは円い蓋である」が逆問題の答えになりそうです。でも、果たしてそうでしょうか。

「円い蓋以外にも穴に落ちない蓋があるのではないか」を考える必要があります。せっかく蓋が三角形、四角形の場合の例をあげて、その幅に言及しながら答えた人もいるのですが、問題を単純に考えたためか、逆問題の答えにまで言及した人は、一人もいません。

蓋のどこを測っても、その幅が等しければ、蓋はマンホールには落ちないことは明らかです。どこを測っても幅が等しい図形を、数学的には等幅図形といい、円はその典型ですが、他にもあります。例えば、正三角形の各頂点から正三角形の一辺の長さで対辺の外側に円を描いたものです。どこを測っても、正三角形の一辺の長さの幅になっています。この形は、ロータリーエンジンのローターのようにも見え、素人が握ったおむすびのようにも見えます。一般的には、正奇数多角形の各頂点から対辺に対角線の長さで円を描けば、それが等幅図形になります。

このように、穴に落ちない蓋という理由だけなら、等幅図形であればどんな形でも良いのですが、現実にはそうならず円になっている訳ですから、他にもまだ大きな理由があるはず。「蓋をはめ込むのに円い形なら簡単」、「強度的に安全」、「円い形は製作しやすい」などが、その理由としてあげられるでしょう。

一方、コインの方はどうでしょう。決定的な理由は非科学的なものです。そのあたりを造幣局の資料から引用してみましょう。

明治以前のコインには、円形のほか楕円形や方形等がありましたが、明治以降のコインは、全て円形となりました。これは明治2年に、コインを円形に改めたほうがよい、という大隈重信（当時の大蔵参与）の意見が採用され、政府の方針として決まったからです。この時の大隈重信の提案理由は、方形に比べ使用するときには便利、カドがないので摩損が少ない、というものでした。日本では、この大隈重信の方針が、今も脈々と続いている訳です。

現在円形でないコインを発行している国は、世界に約50カ国あるそうですが、それらの国で発行されているコインは多角形、それもほぼ円形に近い多角形をしているコインが大多数だそうです。一例として、イギリスの20ペンスコインと50ペンスコインは、正7角形をベースにした等幅図形になっています。

マンホールとコインに関する一つ一つの回答は、順問題の答えとしてはどれも正解と言えるでしょう。実際には、これらの複数の理由が重なって、円くなっていると言えるでしょう。それに、逆問題に答えて、はじめて満点の正解と言えるのではないのでしょうか。コインの例では、一見して非科学的回答のように見えるものが、実は一番決定的なものでした。

皆さんも是非、日常生活の中で逆問題的発想をされることをお奨めします。近い将来、日本のどこかで、素人の握ったおむすびのような形をしたマンホールが現れることを楽しみにしています。

中小機構中国本部 チーフアドバイザー（技術担当）山本茂之

=====

■当メールを、お知り合いの方などに転送し広めていただくと幸いです。
皆様のご受講を心よりお待ちしております。

■「広島校だより」の 配信解除・お問い合わせはこちらからお願いします。
<http://www.smrj.go.jp/enq/inst/hiroshima/007731.html>

編集・発行：中小企業大学校 広島校
〒733-0834 広島県広島市西区草津新町 1-21-5
TEL 082-278-4955 FAX 082-278-7201
